

令和3年度補正予算 一般会計予算決算常任委員会(総務文教分科会)資料提出事業

No.	新規 継続	重点	事業名	予算額 (千円)	款	項	目	補正予算書 ページ	課名	資料 ページ
1	新		防災気象情報システム導入事業	24,694	2	1	14	16 ~ 17	総務課	1 ~ 4
2	新	②	キャリア教育推進事業	660	10	3	2	28 ~ 29	学校教育課	5 ~ 8
3	新	②	スマイルサイエンス事業	500	10	1	3	26 ~ 29	学校教育課	9 ~ 10
4	新		ふるさと文化遺産登録・活用事業	99	10	5	1	28 ~ 29	社会教育課	11 ~ 14
5	新		電子図書館システム導入事業	11,550	10	5	3	28 ~ 29	中央・厚狭図書館	15 ~ 18
6	新		期日前投票所増設事業(赤崎公民館)	1,847	2	4	3 4 6	20 ~ 21	選挙管理委員会事務局	19 ~ 24

令和3年度補正予算 一般会計予算決算常任委員会(民生福祉分科会)資料提出事業

No.	新規 継続	重点	事業名	予算額 (千円)	款	項	目	補正予算書 ページ	課名	資料 ページ
7	新	②	公立保育所ICT化推進事業	11,492	3	2	4	22 ~ 23	子育て支援課	25 ~ 28
8	新		小野田児童クラブ室整備事業	11,105	3	2	6	22 ~ 23	子育て支援課	29 ~ 32
9	新		手話通訳者設置事業	296	3	1	2	22 ~ 23	障害福祉課	33 ~ 36
10	新		証明書等自動交付事業	8,993	2	3	1	18 ~ 19	市民課	37 ~ 40
11	新		申請書作成支援事業	3,592	2	3	1	18 ~ 19	市民課	41 ~ 44
12	継		空家等の適正管理の補助事業	1,500	2	1	13	16 ~ 17	生活安全課	45 ~ 50
13	新		防犯カメラ設置補助事業	2,000	2	1	20	16 ~ 17	生活安全課	51 ~ 54
14	新		地域づくり推進事業	986	2	1	16	16 ~ 17	市民活動推進課	55 ~ 58

令和3年度補正予算 一般会計予算決算常任委員会(産業建設分科会)資料提出事業

No.	新規 継続	重点	事業名	予算額 (千円)	款	項	目	補正予算書 ページ	課名	資料 ページ
15	新		地図情報システム構築事業	41,000	8	5	1	26 ~ 27	都市計画課	59 ~ 62
16	継		スマイルエイジングパーク事業	16,800	8	5	2	26 ~ 27	都市計画課	63 ~ 66
17	新		公的賃貸住宅用地取得事業	49,529	8	5	1	26 ~ 27	都市計画課	67 ~ 70
18	継		駅舎バリアフリー化整備事業	21,128	7	1	1	24 ~ 25	商工労働課	71 ~ 74
19	新		6次産業化・農商工連携応援事業	3,500	6	1	3	24 ~ 25	農林水産課	75 ~ 78

令和3年度補正予算 一般会計予算決算常任委員会(新型コロナウイルス感染症対策分科会)資料提出事業

No.	新規 継続	重点	事業名	予算額 (千円)	款	項	目	補正予算書 ページ	課名	資料 ページ
20	新		感染対策事業	4,290	2	1	31	18 ~ 19	総務課	79 ~ 82
21	新		WEB環境整備事業(文化会館)	1,611	2	1	31	18 ~ 19	文化スポーツ推進課	83 ~ 84
22	新		WEB環境整備事業(市民館)	1,645	2	1	31	18 ~ 19	文化スポーツ推進課	85 ~ 86
23	新		WEB会議環境整備事業(市役所)	2,004	2	1	31	18 ~ 19	情報管理課	87 ~ 90
24	継	①	商品券(スマイルチケット)発行事業	373,453	7	1	6	24 ~ 27	商工労働課	91 ~ 94
25	継		新型コロナウイルス感染症に関する 中小企業等支援事業	1,410	7	1	6	24 ~ 27	商工労働課	95 ~ 97

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	2	市民生活・地域づくり・環境・防災	9	防災体制の充実	1	防災対策等の充実	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	スマイルエイジング	コロナ対策
防災体制整備事業		防災気象情報システム導入事業					

事業概要	<p>近年の大雨による災害は大規模・激甚化しており多数の尊い命が失われている。大雨がもたらす河川の氾濫は甚大な被害となり、本市が抱える河川もその危険を持っている。本市における過去の災害を見ても、大雨により河川が氾濫し甚大な被害もたらしていることから、気象状況を把握することは市民の生命と財産を守るために大変重要な情報となる。</p> <p>このようなことから新たな防災気象情報システムを導入することにより、より正確で速い情報を市民へ伝達することが可能となり事前避難の行動に繋がるとともに、市ホームページで河川の状況を確認することで、視覚的に危険を察知でき、自助・共助の避難行動にも繋がる。また、気象状況の確認のため危険を冒して職員を派遣する必要がなくなるとともに、気象状況の詳細情報をPC上で収集できることから危険を冒すことなく災害対策本部内の情報共有ができ、災害対策を行う上で大変重要な情報が収集可能となる。</p>	対象	市民、自治会、自主防災組織
		手段	新たな防災気象情報システムを取り入れることにより、災害時の避難情報等の発令判断を早めるとともに、気象状況を市民が容易に把握することが可能となり事前避難の行動に繋がることとなる。
		意図	災害が発生する危険性をいち早く認識することにより、災害対策本部での早期判断と市民の事前避難の行動に繋がる。

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率。R2(4月~7月)の上段は年間の目標 中段は4月~7月の実績を記入。

活動指標又は成果指標		R1	R2(4月~7月)	R3	R4	R5
1	防災気象情報システム導入及び運用			導入・運用	運用	運用
2						
3						

R3年度に向けた評価		
	成果	コスト
前年評価(A)		
事中評価(B)		
(A)と(B)を踏まえたR3年度以降の取組方針		

視点	評価項目	評価理由	評価結果	評価点
妥当性	目的の妥当性	災害時の情報を迅速化かつ的確に収集・伝達することにより、市民の生命及び財産を守る。	3	33
	自治体関与の妥当性	災害発生時の危険性を事前に把握し、避難情報を市民に伝えることは市の責務である。	5	
	対象(受益者)の妥当性	主には市民や自主防災組織を対象としている。	5	
有効性	事業の優先度	災害時の情報を迅速かつ的確に伝達することは、市の責務であり優先されるべきである。	3	
	類似事業の存在	山口県土木情報システム等	5	
	個別計画・政策との整合性	山陽小野田市地域防災計画	3	
効率性	実施主体の適正化	災害発生前及び災害発生時の状況などの情報を適切に伝達することが重要である。	3	
	受益者負担の適正化	災害発生前及び災害発生時の状況などの情報を適切に伝達することが重要である。	3	
	コスト効率	視覚的に多くの市民へ情報伝達でき、効率的である。	3	

事業期間	R3	年度	~	R8以降	年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般	交付税	無	
予算費目	款	2	総務費		項	1	総務管理費		目	14	防災費		
	細目	1	防災費			細々目	1	防災費					事業区分

		総事業費	R1(決算額)		R2(予算額)		R3		R4		R5		R6	R7
年度別	事業内容						防災気象情報システム導入及び運用費		防災気象情報システム運用費		防災気象情報システム運用費			
支出内訳	R1からR2への繰越明許費						防災気象情報システム構築料	24,255千円	システム保守委託料	330千円	システム保守委託料	330千円		
							システム保守委託料	55千円	システム利用料	792千円	システム利用料	792千円		
							システム利用料	132千円	通信運搬費	490千円	通信運搬費	490千円		
							通信運搬費	82千円						
							普通旅費	170千円						
		合計						24,694千円		1,612千円		1,612千円	1,612千円	1,612千円
財源内訳／割合	国庫支出金													
	県支出金													
	地方債													
	その他													
	一般財源						24,694千円		1,612千円		1,612千円	1,612千円	1,612千円	
	合計						24,694千円		1,612千円		1,612千円	1,612千円	1,612千円	

国庫支出金・県支出金等の名称及び所管部署	特記事項
予算支出の根拠となる法律・条例・規則・要綱等の名称	

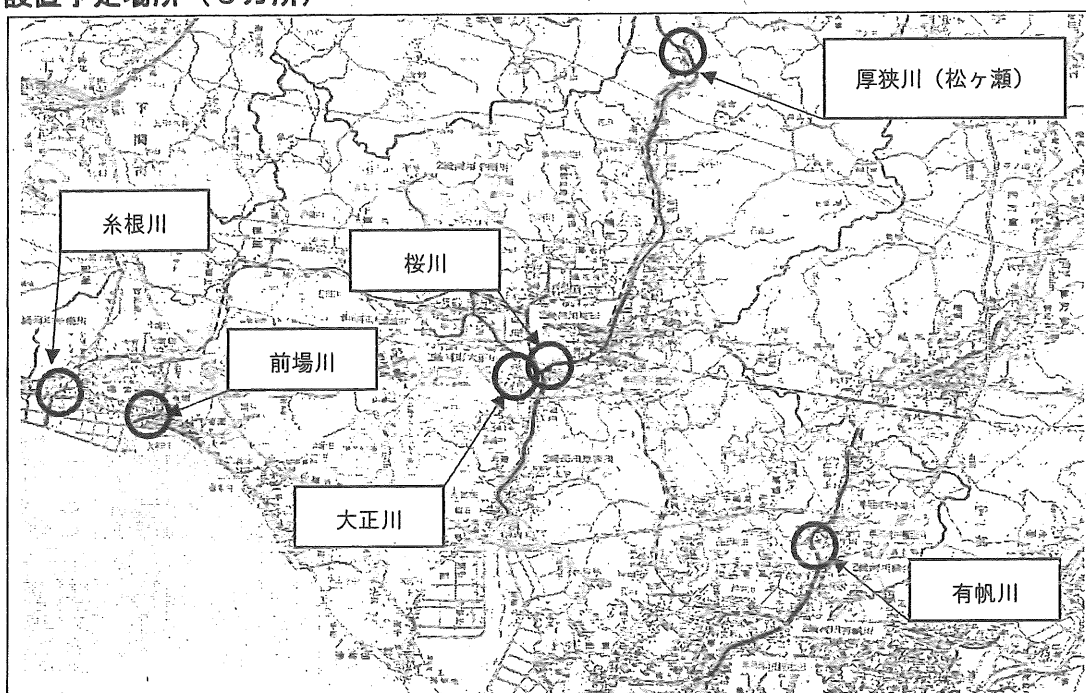
○事業概要

本市の2級河川には、一部に防災気象情報の収集のため、河川カメラ及び簡易水位計が設置してあるが、多くの2級河川には未設置であり、早急の整備が望まれる。そこで本事業により、6河川に河川カメラを、2河川に簡易水位計を新たに整備するものである。これにより河川の状況を確認することができ、危険を冒して職員を派遣する必要がなくなるとともに、災害時の避難情報の発令判断を早めることができる。また、収集した情報は、市ホームページに掲載し、市民の閲覧が可能になることで、自助・共助による避難行動を促すことができる。

○設置予定場所及び設置機器

- (1) 厚狭川・・・河川カメラ・簡易水位計設置予定（第一松ヶ瀬橋周辺）
- (2) 有帆川・・・河川カメラ設置予定（有帆新橋附近）
- (3) 桜川・・・河川カメラ設置予定（桜橋附近）
- (4) 大正川・・・河川カメラ設置予定（石丸橋附近）
- (5) 前場川・・・河川カメラ設置予定（前場橋附近）
- (6) 糸根川・・・河川カメラ設置・簡易水位計設置予定（国道190号橋梁附近）

○設置予定場所（6カ所）



○設置理由

- (1) 厚狭川（松ヶ瀬）・・・平成22年の厚狭川豪雨時に甚大な被害（美祢線の流出、住宅の床上浸水等）があった地域。
- (2) 有帆川（有帆新橋）・・・有帆川の河道の中で湾曲する部分に当たり、堤防の決壊や越水が考えられ、山口県の水辺計が設置してある。
- (3) 桜川（桜橋）・・・厚狭川の水位が上昇し、増水した桜川の水が排水できなくなることで、洪水が発生するおそれがある。
- (4) 大正川（石丸橋）・・・厚狭川の水位が上昇し、増水した大正川の水が排水できなくなることで、洪水が発生するおそれがある。
- (5) 前場川（前場橋）・・・平成11年の台風第18号により高潮被害があった場所であり、洪水と高潮の両方が発生するおそれがある。
- (6) 糸根川・・・高潮被害による護岸工事は完了しているが、国道190号が通る橋は高潮対策が講じられておらず、浸水するおそれがある。

